

第3回京丹波町総合計画審議会

平成18年12月5日
午前9時～
京丹波町役場議場

- 1 開会
- 2 町財政状況について
- 3 基本構想案について
- 4 今後の審議会について
- 5 高校生とのまちづくり共同研究会の実施結果（資料配布のみ）
- 6 閉会

京丹波町総合計画審議会の審議状況

期 日	内 容	備 考
平成 18 年 8 月 10 日	第 1 回全体会議	諮問、策定方針等、部会の編成
9 月 28 日	正副会長打ち合わせ	
	正副部会長打ち合わせ	会議の進め方等
	第 2 回全体会議	基本構想案の事前検討等
	第 1 回総務文教部会	基本構想案の事前検討（担当課長出席）
	第 1 回産業建設部会	同上
	第 1 回福祉厚生部会	同上
10 月 11 日	第 2 回福祉厚生部会	基本構想案の事前検討
10 月 12 日	第 2 回産業建設部会	基本構想案の事前検討
	第 2 回総務文教部会	基本構想案の事前検討（総務課長出席）
10 月 17 日	府立須知高等学校・総合計画審議会による京丹波町のまちづくり共同研究会を開催（会場／須知高等学校。参加者／高校生 24 人、審議会委員 6 人、町企画情報課職員 6 人）	6 グループによるワークショップ
10 月 19 日	第 3 回福祉厚生部会	基本構想案の事前検討
	第 3 回総務文教部会	基本構想案の事前検討
10 月 20 日	第 3 回産業建設部会	基本構想案の事前検討
10 月 26 日	第 4 回総務文教部会	基本構想案の事前検討（教育次長出席）
10 月 30 日	会長打ち合わせ	
	第 1 回正副部会長会議	基本構想案の事前検討まとめ
11 月 14 日	会長打ち合わせ	
	第 2 回正副部会長会議	基本構想案の審議
11 月 17 日	町長と協議（審議会会長）	審議会の状況について
12 月 5 日	第 3 回全体会議	町財政状況（総務課長出席）、基本構想案の審議

京都府立須知高等学校・京丹波町総合計画審議会
京丹波町のまちづくり共同研究会（結果）

- 1 主催 京都府立須知高等学校及び京丹波町総合計画審議会
- 2 日時 平成18年10月17日（火）午後1時20分～3時25分
- 3 場所 京都府立須知高等学校 社会科教室
- 4 形式 6グループによるワークショップ
- 5 テーマ 京丹波町の既存資源を生かしたまちづくり
- 6 成果 大人の参加者と協力しながら地元高校生の視点で京丹波町の魅力やまちづくりのアイデアが出された。審議会では、計画策定に向けた審議の中で、これらのアイデア等が可能な限り反映される。高校生は、住んでいるまち、通学するまちのことを改めて考える機会となった。また、これを通じて高校生と大人の世代間の交流が図られた。

7 参加者・研究結果

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
グループ 松茸ワイワイ	(1年)	高校生代表	〔目標〕 京丹波町観光客倍増 〔取組〕 観光松茸園
	(2年)	高校生代表	
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
京未来 team	(1年)	高校生代表	〔目標〕 人が来る・住むまちづくり 〔取組〕 にぎわいを作るプロジェクト
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
OKNTKK チーム	(1年)	高校生代表	〔目標1〕 健康で長生きできる日本をつくる 〔取組1〕 秘境 丹波でぜいたく 〔目標2〕 須高ブランド世界へ発信 〔取組2〕 須高茸開発プロジェクト
	(2年)	高校生代表	
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
たけのこ グループ	(1年)	高校生代表	〔目標〕 特産品いっぱいの自然豊かなまち 〔取組〕 自然エネルギーで特産物生産 農業体験で作物やまちに愛着を 豊富な食材を生かした特産品開発 人のやさしさ、つながりで都会の心をつかむ 自然のまま今のままのまちであり続ける
	(1年)	高校生代表	
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
わんわん チーム	(1年)	高校生代表	〔目標〕 地球環境を守る 〔取組〕 日本一の朝市
	(2年)	高校生代表	
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	

グループ名	氏名 (学年)	区分	研究結果 (概要)
チーム 丹波黒豆	(1年)	高校生代表	〔目標〕 長老山でPRすることによって京 丹波町の良さを知ってもらい若い 人にも住んでもらう。町のシンボ ル作りと三町が一つになる。 〔取組〕 自然エネルギーを使った長老山の イルミネーション ほたるを放して長老山を光らせる
	(2年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
	(3年)	高校生代表	
		審議会代表	
		町企画情報課	



[チーム丹波黒豆◆発表]



[わんわんチーム◆発表]



[OKNTKK チーム◆発表]



[グループ 松茸ワイワイ◆発表]



[たけのこグループ◆発表]



[京未来 team◆発表]



京都府立須知高等学校生徒・京丹波町総合計画審議会委員による

京丹波町のまちづくり共同研究会

参加者アンケート集約

配布方法／共同研究会終了時に高校生の参加者24人に手渡し、後日回収

回収方法／高等学校経由

回収数／12（回収率50.0%）

参加者内訳／24人（男子10、女子14人）のうち

1学年：7人（男子1、女子6） うち 町内6、福知山市1

2学年：9人（男子5、女子4） うち 町内7、亀岡市1、京都市1

3学年：8人（男子4、女子4） うち 町内3、南丹市1、京都市1、西宮市1

共同研究会を終えた感想を書いてください。

- 思っていたより話しやすく、楽しかったです。始めに京丹波町の資源を聞かされたとき、私が思っていたより、たくさん出て驚きました。そして、私が思いつかない京丹波町の良いところもあり、得した気分です。この共同研究会で新しい京丹波町を発見することができたので、参加してよかったと思いました。
- あまり乗り気ではなかったけど、今回参加してみて私にとって良いものになったと思います。
- いろいろなことを考えて、いろいろな人と話し合っておもしろかったです。人それぞれの意見があってなるほどと思うこともありました。まちづくり共同研究会に出て良かったです。
- いろいろ楽しい企画が出て楽しかったし、京丹波の良いところがわかった。ぜひ、実施してほしい。
- 京丹波町について、今まであまり考えたことはなかったので、自分の町を見直す良い機会となりました。京丹波町には、良いところがたくさんあると分かったので、この良いところをまちづくりに生かしてほしいです。
- とても楽しかったです。自分たちのまちづくりについて考えたのなんか初めてで、最初はどうなるのかすごく不安でした。チームの中でも知らない人ばかりやし……。でも、少しずつ打ちとけていっぱい話せだし、たとえ実現は無理でもこういう機会を持って町を見つめ直すことは大切だと思いました。京丹波町の良いところや知ら

なかったことをたくさん知ることができました。そして、合併して、まだなじみのなかった地域にもすごく親近感を感じることができました。

- 自分の意見を言うこともでき、他の人の意見も聞くことができた。
- たくさんの企画ができて良かったと思う。良い交流ができたと思う。
- 思っていたよりも楽しくできました。とてもユニークな意見などもあっておもしろかったです。
- 私は京丹波町のことをあまり知らなかったから、共同研究会に参加して京丹波町の良さをたくさん知ることができました。高校生の意見をまちづくりに生かすという取組みは、とても良いことだと思いました。
- 京丹波町について、いろいろな意見が聞けて良かったし、自分の意見も言うことができてとても良い話し合いだったと思います。この話し合いで京丹波町が今よりもっと良い町になってくれたらうれしいです。また、こんな機会があれば、ぜひとも参加したいです。
- 想像していたのと全然違った。そこそこ楽しかった。

研究会で言い残したこと、京丹波町のまちづくりの提案などがあれば、自由に書いてください。

- 人工芝ホッケー場があるのは良いけど、もっと周りに施設を作ったり交通の整備をしたりすればよいと思います。また、ホッケー体験場（気軽にできる）があると良いと思います。（丹波マーケス等にスティックとボールがあって遊べたりする。）
- 娯楽施設（ゲームセンターやカラオケ）などを作ったり、ユニクロなど若者が集まるような施設も作ったりすべきだと思う。丹波マーケスの建物ももっと大きく（二階建てにするなど）。
- 共同研究会で考えた取組み「日本一の朝市」をもし開くことになったら、紙皿や紙コップは使ってほしくないです。取組みの究極の目的が「地球（自然）環境を守る」。だから、使い捨てるのは矛盾していると思うからです。
- どんなに良い取組みをしても交通が不便だと、なかなか訪れにくいと思います。だから、交通について考えてほしいと思います。そうすれば、リピーターも増えると思います。
- 特に何をすればよいというのは、共同研究会で出したようなことです。私は、何よりも町民が一つになって取組みをするということが大切になってくると思います。

一人一人が「京丹波町を良くしていきたい」と思ったり、「京丹波町って素晴らしい所」と言えるようになれば、そして、みんなで協力することで人の温かさがあふれる町になれば、人は自然に集まってくると思います。それに、人を引き寄せる魅力あふれる町になっていくと思います。京丹波町がそんな風になれば、とっても素敵ですね。

- まちづくりとは関係ないけど、下山で降りる子が今の4時バスの時間だと間に合わないから早くしてあげてほしい。また、定期を買いに行った時に不在で、なかなか買えないことがあるから、いつでも買えるようにしてほしい。困っています。
- 言い残したことはありませんが、ぜひ、高校生の意見のどれかを実現してくれるとうれしいです。また、松茸については、もっと生産量を高めてほしいし、黒豆も世界中に広めてほしいです。
- 他町や市内に住んでいる高校生も研究会に参加してもらって、京丹波町にはない行事の案を出してもらおう。

今後も、今回のような町または住民が高校生と一緒にまちづくりなどを考える研究会を開催するとしたら、どんなテーマが良いと思いますか？ その理由も簡潔に書いてください。

(例：地元の農林産物を売り出すための方策について。その理由は、京丹波町の黒豆や小豆、マツタケ、クリなどは丹波ブランドとして全国的に有名だが、各種の農林産物がもっと有名になって、もっと売れる方法はないか、一緒に考えたいと思った。)

- 特産物をもっと売り出す方法について——京丹波町の特産物は有名だけど、全国規模(※)にするにはどうすべきか等を話し合いたい。 ※例：黒豆は有名だけど、もっと有名にするには、京丹波町の飲食関係の店すべてで一品は黒豆料理を出せるようにする等
- 京丹波町に若者を増やすにはどうしたらよいか。自然を守るにはどうしたらよいか。
- 丹波ブランドを有名にする方法——食べている人は丹波ブランドのことを知らずに食べているのではないかと思うからです。
- 自然を生かす方法について——この町は自然にあふれているが、この町に住んでいる私たちでも自然とふれあうことは少ない。この豊かな自然を生かす方法を考えてみたいと思った。
- 今回のように自由な感じが良いと思います。でも、大人の方たちが困ったときは、

ぜひ高校生に尋ねてほしいです。高校生は、高校生なりにいろいろな考えを持っていると思うし、まちづくりに参加したいです。これから自分たちが住んでいくわけだから、たくさん意見を出してどんどん取り入れてもらえたらよいと思います。小さい子からお年寄りまで、みんなの意見を聞き入れ、住みよい町にしていくことはすごく大切だと思います。もっともっと意見交換の場をつくってください。

- 京丹波の自然を利用して新しい特産物を作る——新しい特産物を作り、町を活性化させる。
- 京丹波町のここを直したほうがよいなど、そんなテーマですべきだと思う——須知高校へ行くまでに不便な点がいくつかあるし、不満に思っていることがたくさんある。それを聞いてもらう機会もないので、そういう時間をつくってみんながどう思っているか、聞いたほうがよいと思う。そうして改善すべきだと思う。
- やっぱり丹波といえば黒豆や松茸が有名なので、これを広める取組みが必要だと思います。そのためには、どうしたらよいかを考えなくてはなりません。しかも今は、その名産を作る人が少なくなっているし、それを補うにはどうしたらよいかなども考えていかなければならないと思います。
- 子どもたちが楽しく遊べる場所を作る——京丹波町には、服を売っている店、ゲームセンターがある店がないから、そういう店を建てることによって、交通が不便でもみんなが楽しく遊べるようになるから。
- 都会の人にも親しみを持ってもらうにはどうすればよいか——京丹波町は、特産物や自然が豊かという点でとても良い所と思います。それで、都会の人にもその良さを知ってもらいたいし、都会の人と交流を深めることで、町も盛んになっていけばよいと思ったからです。都会の人に作物を作ることを体験してもらうなどの企画を考えてみたいと思います。
- まず、町の人を呼ぶより先に、どうしたら町民にとって住みよい町をつくれるか考える。